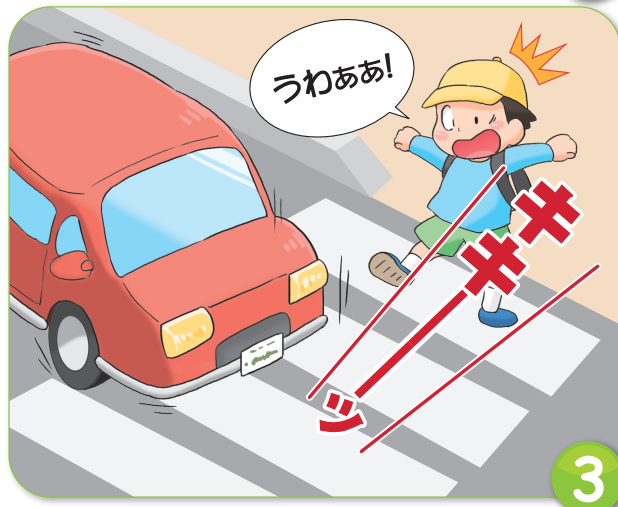
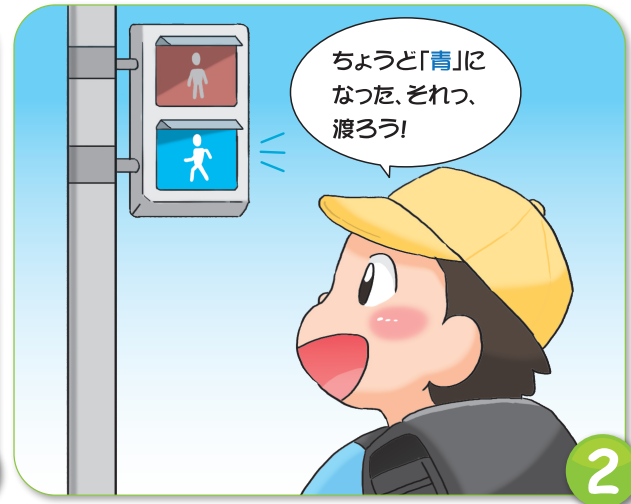


CHAPTER 9 交通ルールとマナー

多くの交通事故は、登下校、塾や習い事の行き帰りなどの「通りなれた道路」で起こっています。特に 自宅周辺の身近な道路こそ、気をゆるめずに、安全をしっかり確かめましょう。

皆さんも正しい交通ルールとマナーを身に付け、事故にあわないようにしましょう。



自分がルールを守っても、相手が守らないこともあるんだね。

ルールを守ったうえで、さらにしっかり安全を確かめないといけないね。



自宅近くの通りなれた道路では、車の交通状況をよく知っているだけに、「わが家の庭」にいるような気持ちで気ままに通行し、安全確認をおろそかにしがちです。そのため、交通事故にあいやすい危険な道路なのです。また、自分が交通ルールを守っていても、相手が守らない場合もあります。道路を渡るときは、渡る前に必ず一度立ち止まり、道路の左右をよく見て、安全をしっかり確かめる習慣を身に付けましょう。

自分だけでなく家族と一緒に交通ルールやマナーについて考えてみましょう。

基本的な交通ルールとマナー

● 通学路を通る。道路は右側を歩く。

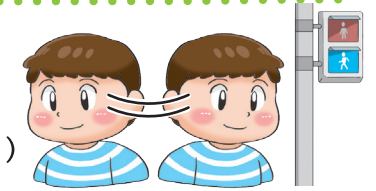
なぜ通る道が決められているのでしょうか? 車はどちら側を走るのでしょうか?

● 横断歩道を渡る。

横断歩道を渡るときでも、必ず一度立ち止まり、左右をよく見て、車がこないか確かめて渡りましょう。

● 「青」でも左右を確認する。

信号が「青」でも、左右をよく見て、車が止まったか確かめて渡りましょう。
(『ドライバーとアイコンタクト』して自分の安全を確かめることが大切です。)



● 車のすぐ前やすぐ後ろから、道路を渡らない。

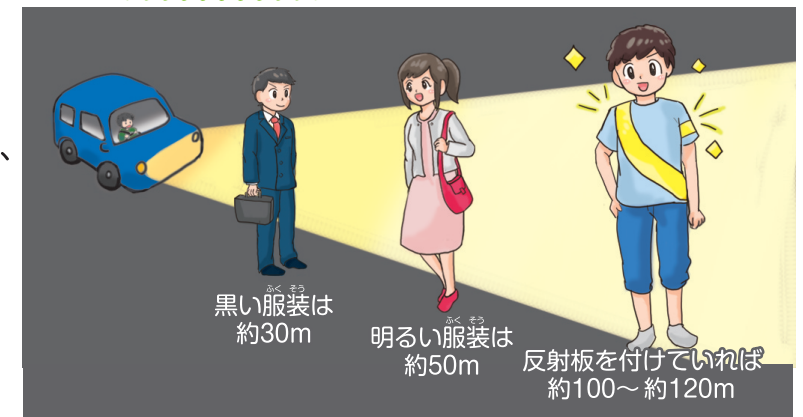
止まっている車の前や後ろからは道路の左右が見えにくく、自分に近付いてくる車を見つけにくいです。また、通行している車の運転手からも見えにくいです。

● 道路や止まっている車の近くで絶対遊ばない

道路で遊んでいると、どうしてあぶないのでしょか?

● 夜間は反射材を身に付ける。

夜間出歩く時は、車の運転手から見やすいように、明るい色の服を着たり、反射材を身に付けたりしましょう。



! 行動ポイント

自宅近くの通りなれた道路に注意。
交差点では必ず一旦止まって、左右の安全を確認しましょう。